

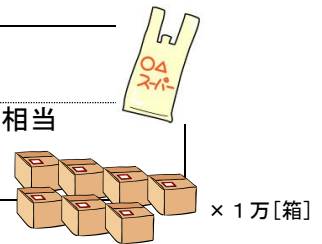
## とやまエコ・ストア制度登録店の取組み実績（令和元年度）

上記の取組み（1レジ袋無料配布廃止、2資源物の回収、3低炭素化の取組み）により、次のような効果が得られると推計されます。（[ ]内：30年度との比較）

### ① ごみ排出削減量

<b>1,285 t</b> [+10]	(レジ袋の削減量)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・富山県内のごみ総排出量（421,043 t (H29)）の0.3%分に相当</li> <li>・10トントラック = 約130台分に相当</li> <li>・段ボール箱（みかん箱サイズ） = 約64,000箱分に相当*</li> </ul>	

※ みかん1箱当たり20[kg]と仮定



### ② リサイクル量

<b>3,507 t</b> [+1]	(資源物の回収量)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・富山県内のリサイクル量（111,776 t (H29)）の3.1%分に相当</li> <li>・10トントラック = 約350台分に相当</li> </ul>	



### ③ 最終処分（埋立）削減量

<b>548 t</b> [+1]	(レジ袋の削減量、資源物の回収量から、これら进行处理したときに発生する焼却灰や不燃物の量を推計)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・最終処分量（38,273 t (H29)）の1.4%分に相当</li> <li>・10トントラック = 約55台分に相当</li> </ul>	



### ④ CO<sub>2</sub>削減量

<b>31,470 t-CO<sub>2</sub></b> <sup>*1</sup> [-169]	(レジ袋の削減量、資源物の回収量、店舗空調の緩和温度から推計)
<ul style="list-style-type: none"> <li>●富山県の約5,100世帯分の年間CO<sub>2</sub>排出量に相当<sup>*2</sup></li> <li>●県民1人当たり年間30.3[kg-CO<sub>2</sub>]の削減量に相当 ⇒ 1世帯当たり年間76.7[kg-CO<sub>2</sub>]の削減量に相当 ⇒ 1か月間、エアコンを毎日約10.8時間使用する場合のCO<sub>2</sub>排出量に相当<sup>*3</sup></li> </ul>	

※1 富山県内の民生業務部門のCO<sub>2</sub>排出量（1,719[千t-CO<sub>2</sub>] (H29)）の1.8%分に相当

※2 1世帯の年間CO<sub>2</sub>排出量を6.21[t-CO<sub>2</sub>/年] (H29 富山県推計)として推計

※3 1時間当たりのエアコンの平均消費電力を465[W]と仮定（出典：省エネルギーセンター）

CO<sub>2</sub>排出量と電気使用量の換算係数は0.510[kg-CO<sub>2</sub>/kWh]を使用（出典：北陸電力欄R1基礎排出係数）



### ⑤ 原油削減量

<b>10,760 kl</b> <sup>*1</sup> [-60]	(レジ袋の削減量、資源物の回収量、店舗空調の緩和温度から推計)
<ul style="list-style-type: none"> <li>県民1人当たり年間10.4[l]の原油削減量に相当 ⇒ 1世帯当たり年間26.2[l]のガソリン削減量に相当<sup>*2</sup> ⇒ 乗用車で富山～京都間の往復に要するガソリン消費量に相当<sup>*3</sup></li> </ul>	

※1 ドラム缶 5.4[万本]に相当

※2 原油が全てガソリンに精製されると仮定

※3 H29の新車ガソリン乗用車平均燃費（23.3km/l）で推計



県民の皆さんと事業者の皆さんとの協働の取組みは、ひとつひとつは小さな行動ですが、これが輪となって広がって、大きな効果を生みます。  
**お店とのエコ活動をきっかけに、家庭や職場でもエコライフの実践を“あたりまえ”にしましょう！**

